

平成30年度会計報告

柑芦会和歌山支部

1. 一般会計の部

【収支計算書】 自平成30年4月1日 至 平成31年3月31日

Table with columns for 科目, 予算額, 実行額, 摘要, 科目, 予算額, 実行額, 摘要. Includes sub-sections for 収入の部 and 支出の部.

【貸借対照表】

Table with columns for 科目, H30年3月31日, H31年3月31日, 摘要, 科目, H30年3月31日, H31年3月31日, 摘要.

2. 基金の部

【収支計算書】 自平成30年4月1日 至 平成31年3月31日

Table with columns for 科目, 予算額, 実行額, 摘要, 科目, 予算額, 実行額, 摘要.

【貸借対照表】

Table with columns for 科目, H30年3月31日, H30年3月31日, 摘要, 科目, H30年3月31日, H30年3月31日, 摘要.

令和元年度収支予算書(案)

柑芦会和歌山支部

1. 一般会計の部

【収支計算書】 自平成31年4月1日 至 令和2年3月31日

Table with columns for 科目, 予算額, 昨年実行額, 摘要, 科目, 予算額, 昨年実行額, 摘要.

2. 基金の部

【収支計算書】 自平成31年4月1日 至 令和2年3月31日

Table with columns for 科目, 予算額, 昨年実行額, 摘要, 科目, 予算額, 昨年実行額, 摘要.

平成30年度 和歌山県内就職状況 (経済学部)

平成31年3月29日現在

Table with columns for 勤務先名, 男女計, 勤務先名, 男女計, 勤務先名, 男女計. Lists various companies and their employee counts.

和歌山大学 経済学部同窓会



南出陽一(高商7回・故人)筆

柑芦会和歌山支部

編集発行人 久山 稔
〒640-8567 和歌山市西汀丁36
和歌山商工会議所 2階
山中盛義事務所内
TEL 073-423-1231
FAX 073-433-4066

平成年度の最後の支部総会を開催します
それを契機に「柑芦会」の在り方を再度考え直そう

次の要領で、平成31年度の和歌山支部拡大総会を開催します。昨年と同様、卒業期別幹事役員に加え、一般支部会員にも出席をお願いし、種々の御意見をお聞かせ願いたいと思います。

開催要領

開催日時

平成31年度5月25日(土) 午前10時30分開会

①講演会

テーマ「オルタナティブ地域学視点から見た和歌山大学の特性」(仮称)
10時30分～11時20分 講師:湯崎真梨子教授

②議案審議

11時30分～12時20分(来賓ご挨拶等含め)

③懇親会開会

12時30分

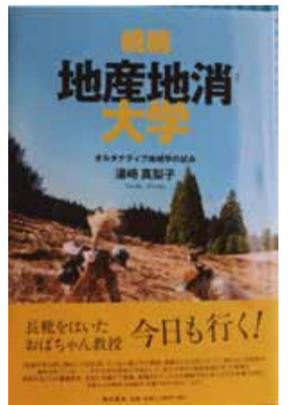
④アトラクション

13時～13時40分
「宝子さん(教育学部OB)と
旦那様(木谷悦也様。ジャズ
ピアニストの県下第一人者のお一人)

⑤懇親会閉会 14時30分



宝子 & 木谷悦也様によるミニライブ



湯崎真梨子教授の著作から

*出席の連絡は、事務局まで
電話、FAX or E-Mailで
お願いいたします。



m_yamanaka@cure.ocn.ne.jp

「今年の総会で訴えたい和歌山支部の今後の活動の在り方」

和歌山大学が立地している地元支部・同窓会として
どんな役割を果たして行けば良いのか。他の支部とは全く
視点の異なる特性を持つことをまず自覚しなければならない。
和歌山支部会員は全員和歌山県に在住する県民であるからです。

今春、柑芦会本部は、所属する全会員に対する「柑芦会
の今後の活性化活動」についてアンケート調査を実施する
とのことで、皆様の方へも質問用紙が届くと思われ
ます。しかし従来の伝統的な同窓会の姿を基盤にした
活性化施策などは、和歌山支部に関しては意義を
持たないと考えています。アンケート結果を無視する
わけではありませんが、「経済学部の旧制和歌山高商の

伝統を継承しそれを守ろうとする活動であればまさに
ナンセンスと思っている訳です。

和歌山大学はすでに4学部をもつ総合大学であり、
全学同窓会の組織も別にあり、大学の特性ある活動を
後援する組織も「基金室」を中心に活動しているのです。
「屋上おくを重ねる無駄はもう止めにしたい」と考
えています。

和歌山支部も組織があり、会員から頂いている年間3
千円(総額210名・70万円余)の為に、当然のことなが
ら総会を開き、活動報告・決算報告しなければなりません。
無駄なことしていると誰しも考えるでしょう。後期
高齢者世代と年金受給権利者世代、それに続く介護義

務負担者世代には、著しい考え方の差があるでしょう。ダイヤル電話世代とガラ携世代、それにスマートホン世代の間では、もう情報の発信・取得のレベルで大きな断層があります。画一的なアンケートから、どんな方向が導き出せるのか興味はありますが、期待は薄いと思われま

す。同窓会と言うのは「昔、おなじキャンパスで学び、飯を食った仲間とたまには集まり旧交を温めたい」という事から誕生したのなら、すでに各世代で任意に集まり楽しんでいるのです。何も先輩・後輩の縦系列で

組織を作り、毎年総会を開くなどすることは無いと思われま

す。「自分は和歌山大学で学び育てられた」という誇りと感謝の念は持っていますが、その思いの表し方は個人別に異なります。

年号が変わるこの年、何とか新しい仕組みを創りスタートをさせたいものだと和歌山支部は願っているのです。柑芦会本部の抜本的な改革に期待するのです。

昨年度に和歌山支部が取組んだ主な活動

- ①支部会員に対する大学への寄付要請(大学基金室を通じての特性ある研究への寄付、硬式野球部等へのクラブ活動支援寄付)
- ②『WIN コンコード』(留学生支援機構)に対する各種行事への参加や、寄付
- ③春・秋二回、支部機関紙「柑芦わかやま」の発行(1,500部)
- ④近畿地区の支部間の情報交換(支部総会への相互出席、メール交換等)

支部会費納入のお願い

上に挙げた活動を進めるために、先輩から頂いてきた浄財による基金を取り崩しながら頑張っています。年会費は3,000円です。恐れ入りますが支部総会開催案内に会費振込用紙を同封させて頂いています。銀行用と郵便局用の2種類あります。どちらかを使ってお振込みください。(二重にならないようご注意ください)

『紀雲「書評」同好会』を始めます

ネットの時代になって、若者は、あまり書物に親しまなくなりました。

高齢になって、老人は、あまり書物に親しめなくなっ

て行きます。そこで、1冊読めば十冊読んだことになる目的で、この同好会を立ちあげます。

事務局は和歌山大学経済学部OB会「柑芦会」とし、実際は「副幹事長の渥美正道氏(経済・16回)が、会場を無料で提供してくれる関係で、お世話をして頂けます。広く学部を超え、和歌山大学関係者に参加を呼びかけて行きたいと思っています。

書評を通じ、自らの立ち位置、和歌山県市の立ち位置を参加者が確認し、夫々が大学人として将来に向かって強い確信を持って歩んで行くことが出来る。そんな

成果を得られることを目指します。

開催の場所は、「柑芦会」の和歌山支部の副幹事長・渥美氏が所有する和歌山市駅前の施設を使用します。収容人数の事もあり定員は15名までとさせて頂きます。

当初は月1回又は2か月に一回の開催とし、開催日については、参加メンバーの意見や諸々の条件を考慮して決めます。

夫々が最近読んで感銘を受けた書物を紹介し、質疑や、意見交換をしながら進めます。具体的な運営方法については、参加メンバーの希望等汲みながら、適宜修正しながら進めて行きます。

呼びかけ人 「柑芦会」和歌山支部長 久山 稔
副幹事長 渥美正道

入会を希望される方は、5月20日までに、渥美までメールにてお申し込みください。
(メールアドレス: atsumi@beach.ocn.ne.jp 携帯電話: 090-8533-6614)

和 大 ・ ト ピ ッ ク ス

=外国人卒業生が経済学部長に=

和歌山大学にとって画期的な事柄です。チュニジア共和国出身の和 大 ・ 大学院出身の教授が「経済学部長」に就任されました。今後の和歌山大学の研究活動や人材育成活動に大きな広がりが期待されます。

新経済学部長 略歴
氏 名 Maghrebi Nabil Ben Mohamed
(マグレビ ナビル ベン モハメド)
生年月日 昭和38年7月4日(55歳)
所 属 経済学科
(専攻・国際金融市場、イスラム金融、リスク分析)
学 位 博士(経済学)(大阪大学大学院)
和歌山大学・大学院経済学研究科修士課程修了
平成20年4月、経済学部教授に就任

柑芦会・幹部役員と伊東新学長、マグレビ・ナビル新経済学部長と懇談

開催日 4月11日:出席者・青柳柑芦会長・久山和歌山支部長・山中和歌山支部副部長・大阪支部西本幹事長

=大学の今までに無い活動方針が示された。=
大学内での大きな人事異動が発令され、次のような具体的な活動方針が示された。

伊東新学長からは

- ①経済学部創設70周年記念企画を、本年10月26日(土)のホームカミングデイの日に合わせて開催する。その内容は学内で検討中。柑芦会より意見を聞かせてほしい。
- ②和歌山市内・高松にある「松下会館」は、耐震診断の結果そのまま維持できず、敷地売却の方向で進めていたが、和歌山大学の今後の地域活動の拠点として、活用したいとの方針の中で、教授会の賛同も得て存続させることとなった。柑芦会からの新しい時代に即した活用方法を提案頂きたい。

マグレビ・ナビル経済学部長からは

- ①柑芦会の会員メンバーから、経済学部に対する活動の方向に付いて先輩がどう期待しているのか、アンケートでお尋ねしたい。企画しているので協力をお願いしたい。
- ②経済学部としては国際市場に目を向けられる学生の育成、外国語を身に付ける教育を目指す。と言った内容の懇談会となった。

師範・高商の伝統を受け継ぐ和歌山大学柔道部



渥美正道(大学16回)

和歌山大学柔道部の歴史は大学の歴史と共にあるくらい古く、和歌山県師範学校の柔道部は明治38年には既に設立されていたとの記録があり、大正12年には和歌山高等商業学校柔道部が設立された。戦中戦後一時途絶えていたのを、昭和28年に経済5期の小泉陽氏らが中心となって和歌山大学柔道部を設立した。(以上、後援会誌への池田先生寄稿文より)

顧問の矢野先生や柔道部OBの池田先生の指導のもとで、小ぶりなクラブながら近国体で2年連続準優勝するなど、好成績を上げている。また最近では、和歌山県下の柔道クラブや海外との柔道交流にも取り組んでいる。

OBによる、柔道部後援会は昭和38年、12期金沢照夫主将の時代に、高商14期竹中康二氏や高商2期今宮正雄氏等の尽力で発足、クラブ活動費支援や、交歓練

習、親睦会などの行事で現役部員との絆を深めている。

URL <http://wajudo.web.fc2.com/>



OBとの交歓試合風景

随想投稿

和歌山支部が毎年支援活動をしている WIN コンコード（留学生支援機構）より、毎年、定期的に支援している柑芦会和歌山支部長に「巻頭言の原稿依頼」がありそれに応じました。そのまま随筆として投稿をしておきます。

=私が初めて外国を旅した思い出から= 何としても放って置けない歴史的事実に遭遇

久山 稔（経済・6回）

もう47年も前の事でした。当時私は36歳。私はある銀行の「人事部・研修課」の課長代理と言う初級管理職に付いていました。戦後の高度経済成長時代で、人材育成施策に積極的に取り組んでいる時期でした。しかも当時は銀行ばかりでなく、商社やメーカーも含め外国取引の拡大に目を向けている経済環境の中に在りました。関西経済連合会も各種団体や、会社に呼び掛け、若者達による東南アジアをめぐる船上研修団編成を企画したのです。幸いなことに、私が「その状況を経験・視察して来い」と派遣される幸運を得たのです。

東京埠頭を出発し、故郷の「潮の岬沖」と言われる頃には酷い船酔いに悩まされながらも、二日後にはようやく食事もうけを通り、快適な船旅が始まりました。最初の訪問国はフィリピンでした。首都、マニラで初めて艦内整理や治安維持に付く現地の人達との接触が始まりました。双方、片言の英語や日本語で言葉を交える喜びは、経験したことのない感動でした。

そのマニラでの見学コースに、「モンテンパ・日本人墓地」がありました。私の従兄がそのマニラで戦死したという事を知っていただけに、この地の訪問には深い思い入れがありました。

小高い丘の上にある広いその墓地には、丸い自然石の墓石が何百となく並んでいました。

それは、太平洋戦争後、収容されていて戦争犯罪人とされてしまった現場の将校やそれに協力した民間人の墓石でした。

その墓石群の片隅で、一人のお年寄りが、座り込んで草刈り鎌で伸びた雑草を刈っていました。傍に寄って「有難う」と日本語で云うと、お爺さんは私の顔をじっと見詰め、頷いたままその場を急いで離れて行きました。直感的に私は、「日本人だ」と思いました。

宿泊施設の「客船」での夜の研修会合で、この強烈な気持ちを皆に披瀝しました。「日本のサラリーマンの年間所得の20分の一にも満たないと聞いていたマニラの状況の中で、彼は「墓守をしてくれているのだ。その方の年収の例え3年分（約30万円）だけでも支援できないか。船上研修に参加している200名のうち、100人が三千元寄付に賛同し協力してくれば、総計30万円。墓守の為にマニラ市のしかるべき組織

から補助してやってくれないか。」「何もしないで帰国できない。」そう思いました。

私は仲間と相談しながら、すぐさま各グループリーダーに訴えました。その計画を主催者団体にも報告しました。すぐさまその活動は中止するように指示がありました。

「日本とフィリピンの国民感情はまだ複雑です。日本に対する恨みの思いもあるのです。もっと将来を見据えて時を待ってください。」とのことでした。哀しい計画の頓挫でした。

私のこの経験は、現在の今の自分の考え方の柱になっています。

WIN コンコードを通じて、外国からの人材育成の面で少しは協力できる立場に現在立っています。

北朝鮮問題、韓国関係問題、中国・アメリカの関係、「その時の目先の情感に惑わされてはいけない。未来は次の世代の話し合いの結果導きだされてくる事だと信じよう」とつくづくそう思っています。それと同時に日本が戦後七十余年間、戦争も無く平和に過ごしていることを有難いことだと深く感謝し今を生きています。いつまでも続きますように!!。



最近感銘を受けた書物から

私の健康法

「二つの歩き」

小瀧 信（20期生）



「私の健康法」というテーマをいただきましたが、「毎日決まったことをするとかこだわっていること」というのは特にありません。そもそも、平成6年東京に単身赴任しているとき、会社の健康診断で初期の胃がんが見つかり、胃の全摘手術を受けました。幸い他への移転もなく今までに至っています。担当医の先生からは、「特に消化の悪そうなものは避けてください」とは言われたものの、「お酒も含め何でも試してみてください。おかしくなったらやめれば良いと言われ、」あまり神経質にならずに済みました。それでもよくかんで食べる等当初は心がけていましたが、「喉元過ぎれば」でいつまでも続きませんでした。今でも「量は食べられない。麺類を急いで食べると詰まってしまう。」ということはあるものの、成人病検診の数値は正常値の範囲内で収まっています。これは「二つの歩き」のおかげかなと思っています。

一つは、30年近く犬を飼っていて現役の時代は休み



の日に散歩を兼ねて歩き、退職後は雨や予定のない日を除き毎日朝夕 or 朝夕に各々30分程度歩いています。

もう一つは、平成9年の転勤で和歌山に戻り、当時の直属の上司が同じ和歌山大学の先輩で、その年の8月に「山登りの準備をして高野山へ行くから。」と言われてついていったのが、今も続いている「和大OBのつれもて会」です。何名かの方がすでに「柑蘆」に書かれているのでご存知の方もおられるかもしれませんが、昨年の10月に360回を迎えた歴史のある会です。近畿壱円のメンバーで最年長は4期、最年少が27期と58名のメンバーが所属しています。住まいの近くのメンバーでグループを作り、現在11チームで毎月1回日曜日に歩きの場所を企画しています。私が加入したころは3期の方がリーダーで、六甲山をはじめ距離も高さもあるところを歩き和歌山では竜門山・雲山峰・熊野古道等おなじみのところへ行きました。また、「番外」と称して有志での「冬の金剛山・夏のアルプス」等への遠征もありました。

定年延長等で現役が長引き新規加入の方の少ないのが悩みで、20年前に加入した私がまだ若手のうちに入っていて、名簿の管理等事務局を仰せつかっています。平均年齢が上がったことで、番外はメンバーのワンゲルOBの方たちが今も企画してくれてこの2月には「雪の美山」へスノーシュー体験に行ってきましたが、普段の例会は「里山歩き」に近いものや「町中探訪的」なものもあります。この1月は和歌山担当で紀三井寺から名草山を超えて竈山神社、2月には淡輪駅から県境の大福山へ登り箱作り駅まで16キロのそれなりに菌ごたえのある行程を歩いてきました。

和歌山所属メンバーも少なくなっていますので興味のある方は是非ご一報ください。よろしくお祈りします。

(連絡先: k_makoto@mrh.biglobe.ne.jp)

